

霞が関シアター＋トークイベント 「医者として ～映像と証言で綴る農村医療の戦後史～」アンケート結果

開催日時：2013年6月21日(金) 18:45～21:30

回答者属性

1.性別	
男性	23名
女性	12名
無回答	0名

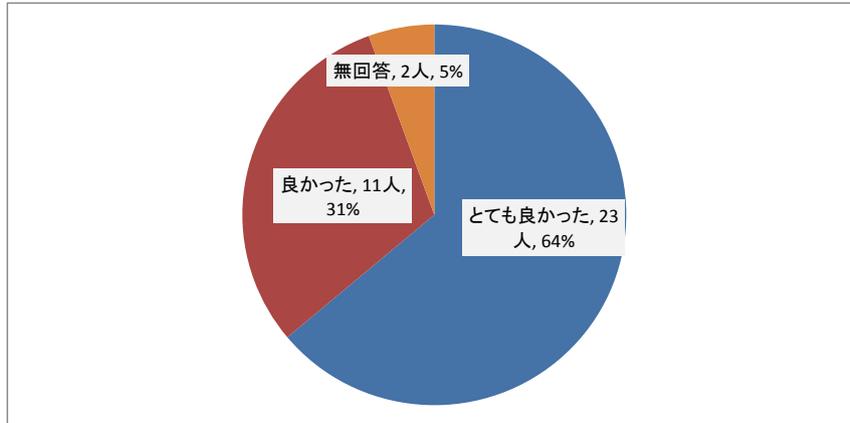
2.会員区別	
KK2メンバー	3名
WEB会員	19名
一般	13名
無回答	0名

3.年代	
～19歳	0名
20～34歳	17名
35～49歳	10名
50～64歳	6名
65歳以上	2名
無回答	0名

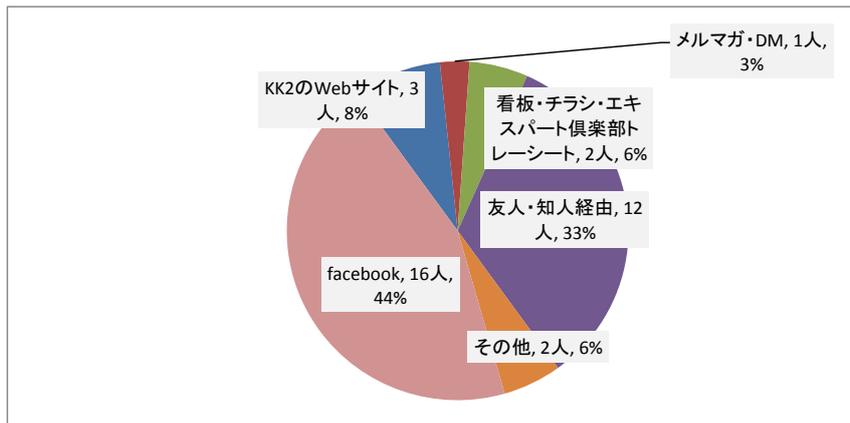
4.KK2文化プログラムへの参加回数	
初めて	27名
2回～4回	5名
5回以上	2名
10回以上	2名
無回答	0名

5.会場	参加者	回答者数
霞が関ナレッジスクエア	51名	31名
陸前高田市長洞元氣村仮設住宅集会所	2名	2名
大船渡市末崎地区公民館	3名	3名
合計	56名	36名

6.本日のご感想をお書きください



7. 今回のプログラムを何で知りましたか？



その他
・前回参加して +3名(重複回答のため)

8. 映画についてのご感想をお聞かせください。

《霞が関ナレッジスクエア》

- ・もともと多くの人にぜひ見てほしいと感じました。
- ・とても考えさせられた内容でした。
- ・社会人学生として福祉や地域医療を学んでおり参考となった。
- ・一人の人の情熱がここまでできるのだと感動しました。
- ・とても参考になりました。東京都下八王子の医療法人に広報企画として在籍していましたが、これから必要なことの原点を見れたと思います。
- ・途中参加になってしまったので、初めからもう一度見れるようまた自主映画希望します。
- ・佐久総合病院の行ったこと、それよっての功績が理解できてよかったです。
- ・長野県における開拓の歴史と医療活動についてよくまとめられていて理解が深まりました。佐久病院の特徴がわかりました。
- ・“誰かが変えてくれる”でなくて、自分が本気で変える。その情熱に人々がついていき、形になったのだと感じました。「医療の民主化」そこまで医療に詳しいわけではないのですが、まだまだこれからの気がします。
- ・若月先生の素晴らしさ＝先見性、先進性、情熱 改めて素晴らしいと思った。
- ・実に素晴しかったです。北澤先生とコメントにもあったように、保健予防、医療、在宅ケアを連続させた仕組みを作り上げられた若月先生の功績を知り、今後若月先生について勉強したいと思いました。
- ・佐久病院については知っていたが若月先生の具体的な活動については初めて知りました。先を見る力、本質を見る力の素晴らしさに感動しました。又、共に働いていた皆さんの生き生きとした表情、ことばにも感銘しました。
- ・基幹医療センターと地域医療センターの今後の連携が心配です。
- ・歴史を追えたことは今後を考える上で大いに勉強になりました。
- ・農民のくらしとその移り変わりがとてもよく分かった。
- ・ドキュメンタリー映画という良さを感じました。
- ・若月先生の先進的な医療に敬意を持ちました。医療、保健、福祉、行政と厚生連との連携はすばらしい。映画記録部はすばらしいの一言につきます。
- ・佐久病院で受け継がれてきたことを見聞きし、現状(病院)への疑問や改善へのヒントを得ることができました。明日から現状を変えたいと思いました。
- ・若月先生の活動の志がわかりやすくまとめられており大変理解できたと思います。休憩をはさんだ2部構成のほうが集中し続けられると思いました。若月先生の経歴について知りたいなと思いました。
- ・遅れて来て見れなかった！残念。トークイベントだけでも熱意が伝わってきました。

《大船渡市末崎地区公民館》

- ・農村の医師とは死亡診断書を書く人と思っていた。発言、置き薬で対応してきた当時の農村の状況、それらの地域を一変させた若月先生方の努力を知り、改めて医療のあり方、平等でなければならない医療の体制づくりを考えさせられた映画でとても勉強になりました。
- ・若月医師や南佐久病院の取り組みは知ってはいたものの、長い長い期間にわたって地域に根ざした取り組みを映像で観て改めて敬服しました。

《陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会所》

- ・戦後の農村医療の様子がよくわかる映画でした。

9. トークイベントについてのご感想をお聞かせください。

《霞が関ナレッジスクエア》

- ・鈴木さんの言葉はとてもよかった。
- ・映像を補足するようなトークは参考になった。医療の民主化、コミュニティケアをどうしていくかが私個人の課題としているが、今日のトーク時間からは聞き出せなかった。事前に質問を受け付けておくともよかったかもしれませんね。
- ・地域をテーマに医療職、介護職以外と語れる場がもっと増えるといいと思いました。
- ・映画からみえるだけでないこともわかってよかったです。
- ・農民病(農夫病)という問題に若月Dr.は着手し、現代のどれいはいは独立病であると言われ、本当にコミュニティの一員として各々が考えないといけないと感じる。
- ・ゲストの方々の熱い思いが伝わってきました。医療の今後が楽しみになってきました。
- ・非常に面白かったです。小池さんの「誰のために、何のために」変えたいという思い、鈴木監督の映画に対する想いを聞けたのがよかったです。
- ・人選非常に良かった。各人それぞれの思いを率直に表明して下さった。
- ・ファンリテートが上手かったと思います。鈴木監督のお話も伺えましたし、小池先生から佐久病院時代のご紹介も印象的でした。鈴木さんの長野市長当選をお祈り致します。
- ・実際に佐久病院に勤務していた医師、長野在住の方、監督と登壇者のバランスがよく進行もよかった。そういえば学生時代農林社会学の授業で南牧村に調査実習で伺ったのを思い出しました。
- ・お腹空いたが、もっと長くても良い。
- ・監督の話がとても良かった。
- ・インターネットなども通じ、各質問に対して真摯に回答されていた。地域医療のあり方を考える上で参考になった。
- ・ワークショップみたいで楽しかったです。
- ・実際に地域にかかわった人々の声のためとてもわかりやすく問題の真を突いて話がきけて、とてもよかったですと思います。
- ・4者4様の回答がおもしろかったです。特に小池 宙先生が熱く、話の内容が身近に感じ印象的でした。
- ・よかったです！

《陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会所》

- ・現代の課題(孤立病、うつ病)についてももう少し深いトークが欲しかった。

10. その他ご感想(ご自由にお書きください)

《霞が関ナレッジスクエア》

- ・私は現在医学部6年生で、将来的に地域医療の現場に携っていきたいと考えています。いろいろな現場に実際に見学・実習に行き、長野県の佐久総合病院に興味を持ちました。今回、ドキュメンタリーを通じて長野の医療と若月俊一先生の業績について多くを知ることができました。当時から“21世紀の医療の姿”を見据えていたのはさすがだと思います。本当にいまの日本に必要なのは新しい社会をデザインするための勇気と想像力だと思っています。ライフ・イノベーション＝維新と考えて、新しい時代を切りひらいていきたいです。ありがとうございました。
- ・今日いただいた学びをベンチャー経営の観点で考えていきたいと思っています。
- ・途上国の医療問題、貧困、紛争なども含め、一般公開されにくいテーマを扱った映画。